

コンゴ(共)月例報告
2017年3月

【ポイント】

●国民議会議員選挙の準備が開始した。5日から7日の間、北部ウエツソにて、国民議会議員選挙プロセスに関する政治協議会が開催され、与党、中立、野党等約300名が参加した。28日、独立国家選挙委員会(CNEI)、内務・県分権・県開発省選挙総局及び同省官房は、国民議会議員選挙にかかる3者委員会を設置した。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政

(1) 国民議会議員選挙プロセスにかかる政治協議会

5日から7日の間、ウエツソ(ブラザビル北方800km)にて、政治協議会が開催され、与党、中立、野党等約300名が参加し、国民議会議員選挙プロセスにつき協議した。野党からは野党参加者が300名中7名程度である旨指摘が入り、不当に逮捕されている野党関係者を保釈するよう要請があがった。

(2) 国民議会議員選挙にかかる3者委員会の設置

28日、独立国家選挙委員会(CNEI)、内務・県分権・県開発省選挙総局及び同省官房は、国民議会議員選挙にかかる3者委員会を設置した。

(3) マカヤ野党(UPC)党首の裁判

控訴院は、1月に開始したポーラン・マカヤ野党UPC(統一コンゴ党)党首の裁判につき、「治安攪乱にかかる扇動の容疑(禁固2年、罰金3810ユーロ)」と判決を下した。同氏は、2015年10月に無許可デモを主導し、同11月に刑務所へ収監された。

2 外政

(1) 二国間関係

ア 米国

6日の週、米務省は、人権に関する報告書を発表した。コンゴ(共)については、「国際条約、憲法、刑法で保護されている基本的権利の大部分を侵害している」旨記載されている。

イ 仏

19日、仏司法当局は、サス・ンゲソ大統領の甥であるウィルフリド・サス・ンゲソに対して、不正蓄財、公的資金の洗浄・横領の疑いで司法手続きを開始した。2006年以降、ウィルフリド・サス・ンゲソはコンゴ(共)交通・海運公社(SOCOTRAM)の総裁を務め、年間300万米ドルの報酬を受け取り、パリとカナダに不動産を有している。

ウ インド

6日、ブラザビルを訪問中のアクバル印外務担当閣外大臣は、ガコソ外務・協力・在外コンゴ人大臣と共同記者会見を行い、二国間関係の強化につき合意した。ガコソ大臣は印が知見を有している農業、鉱山開発への支援を期待する旨述べた。なお、印による現行事業は、農村部電力化、ブラザビル及びポワント・ノワールの交通改善、ニアリ県におけるセメント工場建設、ポワント・ノワールにおける食糧品質管理研究所建設、尿素製造工場等である。

エ アルジェリア

27日から4日間、サス・ンゲソ大統領はアルジェリアを訪問しアブデルマルク・アルジェリア首相との間で、リビア問題、域内経済協力につき協議し、経済にかかる合意書への署名を行った。

(2) 多国間:「コンゴ盆地青色基金(Fonds Bleu)」の設立にかかる閣僚会合

9日、オヨ(ブラザビル北方400km)にて、サス・ンゲソ大統領は「コンゴ盆地青色基金(Fonds Bleu)」の設立にかかる閣僚会合を開催し、太湖県12か国が参加した。内、8か国(アンゴラ、ブルンジ、中ア、コンゴ(民)、コンゴ(共)、ガボン、ルワンダ、チャド)が覚書に署名した。16日、カメルーンが個別に署名し、未署名国は赤道ギニア、ザンビア、タンザニア。議長国はコンゴ(共)、副議長国はルワンダ及びアンゴラ。

3 経済

(1) IMFによるコンゴ(共)ミッション

2月20日から3月8日の間、IMFはコンゴ(共)へミッションを派遣し対コンゴ(共)支援策につき協議した。ワネIMFミッション団長は、2016年の同国マクロ経済につき、「石油価格の下落、インフラ投資、公務員の給与値上げの結果、公的債務はGDP比77%、外貨準備高は輸入2か月分に減額し、企業への未払い金が増加した」と評価した。

(2) 世銀による農業分野支援

2日、世銀が派遣した調査団は、食糧安全保障、農業商業化を促進するため、農業分野への支援として600億CFAフラン(9150万ユーロ)を発表した。クウェート基金も300億CFAフラン(4570万ユーロ)の出資を表明している。

(3) 仏企業の進出

15日、ポワント・ノワール沖にある北モホ油田(採掘可能量10万バレル)の採掘が開始された。投資額100億ユーロ、負担割合は仏トータル社53.5%、米シェブロン社の現地子会社31.5%、コンゴ石油公社(SNHC)15%。

(4) 中国企業の進出

ア 2日、ブラザビルにて、ポワント・ノワール自治港と中国系AVICインターナショナル社は合併会社の設立に合意・署名した。右合併会社は、中国が建設を予定している「航空機メンテナンスセンター」の運営を担当する。また、AVICインターナショナル社は3月から4月の間に、約50名のコンゴ(共)人若者を南アにある同社パイロット養成学校へ派遣する旨発表した。

イ 9日、コンゴ盆地青色基金(Fonds Bleu)会合のマージンにて、中国が建設したエディス・ルシ・ボンゴ総合病院の竣工式が開催された。費用は2090万ユーロ、施工は中国系BRCC社。なお、エディス・ルシ・ボンゴ(2009年3月死亡)はサス・ンゲソ大統領の娘でオマール・ボンゴ・ガボン元大統領の妻。

ウ 22日に開催された閣議にて、中国企業 Thengwei 社に対してリクム県内の金鉱脈にかかる採掘権が、中国企業 Saison Zhong 社に対してニアリ県内の多金属鉱石にかかる採掘権が付与された。推定工事費用はそれぞれ、240万米ドルと600万米ドル。

(5) 豪企業の進出

22日に開催された閣議にて、豪企業 Elemental Minerals 社に対してクイル県内のカリ鉱脈にかかる採掘権が付与された。推定埋蔵量は10億トン、年間採掘量は500万トン。推定工事費用は20年間で40億米ドル。アフリカ大陸1の産出国(世界シェア6%)となる。

4 社会:サル痘のアウトブレイク宣言

15日、コンゴ(共)保健省は北部リクアラ県におけるサル痘のアウトブレイク宣言を行った。サル痘確定患者は4名。内、2名が死亡した。